

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市東長町児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 34,043人（前年度比 100.6%） 平成29年度 33,848人 平成28年度 27,899人 平成27年度 26,432人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 45,220千円（33,796千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円） 《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）
		（ ）は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、異年齢児童と関わりながら仲間同士で遊ぶ楽しさを体験できるよう、日常の遊びや企画行事等を工夫し支援を行っている。高学年がリーダーとなり、子ども同士で集団生活のルールを守る大切さについて確認をする話し合いの場を設けたりするなど、自主性を育てる取り組みを行っている。デイリープログラムに位置付けている「読書の時間」では、高学年児童が自主的に低学年児童に読み聞かせをする様子も見られる。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>今年度は、児童館も地域へ飛び込む、地域も児童館に飛び込むことを目標として、主人公である子どもの「参加」から「参画」を念頭に、子どもの想いと自主性を中心とした活動を展開してきました。児童館が皆の居場所となるよう、様々な方に関わりを持っていただける機会を次年度も積極的に作っていきます。</p> <p>○放課後健全育成事業 当団体が運営する登米の林業の現場にて自然体験をしました。今年度は、初めての試みとしてナイトキャンプも実施。自然の偉大さを実感しました。また、ディアボロのチームが発足し、2年間教えてくださった講師の所属する団体が主催するイベントに参加。日頃の練習の成果を発表できる機会となりました。</p> <p>○健全育成事業 今年度は学年を問わない工作をということで、サンキャッチャーやハーバリウム、キャンディバック作りなどを実施しました。また、食育に繋がる活動としてのバター作りや、仙台の伝統を知る機会となるすずめ踊りに参加するなど、子ども達が輝ける活動を展開してきました。</p> <p>○子育て家庭支援事業 ウェルカムパーティを、1回目は児童館主催で、2回目は太白区子育て支援ネットワーク共催事業として実施。多くの乳幼児親子が参加し、情報を得たり友達作りに繋がったようでした。次年度も継続していきたい活動となりました。</p> <p>○地域交流推進事業 今年度は民生委員児童委員とのつながりができました。次年度は近隣の児童支援発達センターとも連携し、子どもの発達に心配のある保護者を対象に相談ができる機会を設けていきます。また、PTA主催の活動に初めて子ども達の参加の依頼がありました。地域から必要とされる児童館になりつつあるということが実感できました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て家庭支援事業においては、転勤族が多いという地域特性を踏まえ、乳幼児親子を対象に、太白区子育て支援ネットワーク主催「ウェルカムパーティー」のほかに、児童館の行事として「杜の都仙台へようこそ」も実施し、子育て情報の提供や乳幼児親子同士の交流の場を提供している。また、登録制の幼児クラブや自由参加の定例行事のほかに、保護者の関心の高い「離乳食」や「トイレトレーニング」「保育園」をテーマとした子育て講座を開催するなど、行事等の企画にあたっては、利用者の声や要望を反映させるよう努めている。専用の乳幼児室は、乳幼児親子がゆったりと過ごせる場となっており、子育て情報も入手しやすい。関係機関との連携を図りながら、児童館が子育て支援の拠点としての役割を果たしており、評価できる。</p> <p>地域交流推進事業においては、近隣のグループホーム訪問、3年生を対象とした「サタデーナイトinじどうかん」、フリースクールの中高生の児童館まつりへの参加、地域に出かけるハロウィンパレード等、子どもたちと共に地域に積極的に出向き、地域住民との交流の機会をつくりながら、子どもたちが地域の一員であるという自覚を育むよう取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室